合唱団鯨創立10周年記念演奏会

芥川也寸志 鯨 新交響楽団

アマチュアによる感動をここに!!

カルミナ ブラーナ

カトゥーリカルミナ より プレリュード

アフロディテの勝利 より ヒュメナイオスへの祈り / ヒュメナイオスの讃歌

カール・オルフ／作曲

ソプラノ／常森寿子
テノール／丹羽勝海
バリトン／栗林義信
児童合唱／練馬児童合唱団

S 1,500円　　A 1,000円
B 500円(自由席)
11月30日(水) PM 7:00
日比谷公会堂



都内各プレイガイドにて発売中
お問い合わせ・〒160 新宿区百人町1－17－5
オグラビル201 TEL 367－2131
(木曜日午後)

オルフの「トリオンフィ」三部作

カール・オルフは1895年7月10日，ミュンヘンに生まれた。彼はR・シュトラウス亡き後のドイツ作曲界において，独自の世界をもった最も特色のある作曲家の一人といってよい。彼の音楽に対する支持や評価の高さは，ミュンヘンにカール・オルフ通りと名づけられた街路があることにもうかがえるし，また1956年には Pour le Merite の勲章を西ドイツ政府から授けられている。

オルフの音楽上のスタイルの最も本質的な特徴は，単純・素朴で強烈なリズムである。リズムこそ彼の音楽のすべてであり，メロディーやハーモニーは副産物にすぎないといってもよいほどである。そこにはアフリカの合奏音楽にも通ずる原始主義への憧憬が見られる。近代音楽の技巧性・複雑性は排除されており，転調も少なく，対位法は全く用いられていない。打楽器を多用したその原始的・エネルギッシュな響きは，他の現代音楽の傾向には決して見られない新鮮な衝撃を聴衆の心に与えずにはおかない。

「トリオンフィ(勝利)」三部作はオルフの代表作であり，彼の独特な手法はこの作品の中に遺憾なく発揮されている。

「カルミナ・ブラーナ」(1935～36)は，ラテン語で「ボイエルンの歌」の意である。1803年，南ドイツ・バイエルンの修道院から，諷刺詩・恋愛詩・酒宴・あそびの歌など200の詩歌を集めた筆写本が発見された。その大部分はゴリアード（遍歴学生）と呼ばれる中世ボヘミアンたちの手に成るものである。オルフはこの中から25の歌を選び，「春」「酒場にて」「求愛」の三部にまとめて作曲した。管弦楽はピアノ2台，打楽器十数種が用いられ，それにソロ3人，合唱，児童合唱が加わる大編成のものである。

「カトゥーリ・カルミナ」(1943)は，ローマ帝国末期の抒情詩人カトゥールスの恋愛詩をもとに，オルフ自身がラテン語で歌詞を書き加えて作曲したもので，執政官の妻クロディアに対するカトゥールスの激しい恋情を題材にしている。

「アフロディテの勝利」(1950)は，カトゥールスのほか，サッフォー（前7世紀の女流詩人）とエウリピデス(前480～407）の詩からとられており，古代の結婚への讃歌である。

これら三部作は，いずれも愛をテーマにしており，本来，舞台形式で上演されるものである。

合唱団 鯨 団員募集

〝鯨〟は，私達自身の手で造り上げていくアマチュア合唱団です。どなたでも御入団になれますので，ぜひ練習を見学にいらして下さい。団員一同心からお待ちしております。

指　揮：中 村　健（東京芸大講師）
練習日：木曜日 pm 6:30～9:00
場　所：渋谷ドミニコカトリック教会
（渋谷駅南口より歩いて10分）
■お問い合せ：事務所　TEL　367－2131(木曜午後)
森　TEL 0473－58－6636

